

平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

1. 確かな学力を育成する。
2. 豊かな心を育み、生徒一人ひとりの個性を伸ばす。
3. 創造性・国際性・人権意識を向上させるとともに、コミュニケーション能力を高め、社会に積極的に関わる力を涵養する。
4. 安全で安心な学校をつくる。

2 中期的目標

1. 確かな学力を育成する

- (1) 授業の質の向上と生徒による発表・評価の機会を増やし、知識・技能を活用する力と、文系・理系バランスのとれた学力を育成する。

ア 授業アンケート等をもとに生徒の学力向上に係る調査・研究を行う。

イ 公開授業・研究授業等を通じ授業の質の向上に組織的・計画的に取り組む。

- (2) ICTを活用した授業、外部講師を招いての講義について研究と実践を進める。

- (3) 国公立大学と難関私立大学を合わせた現役進学率を30%以上確保する。

※ 生徒向け学校教育自己診断における授業理解度(平成23年度66%)を平成26年度には70%にする。

2. 豊かな心を育み、生徒一人ひとりの個性を伸ばす

- (1) 異学年及び同学年の生徒どうしの協力関係を強くする。部活動や地域連携を充実させる。

ア 学年と生徒会部、部活動顧問等が連携し、3年間を見通した教育計画をたて、平成26年度に完成させる。

- (2) 生徒の自学自習力を高めるため、放課後・土曜日を活用する。

ア 長期休業・放課後における進学講習・補習を引き続き推進する。

イ 土曜日に教育産業と連携し講習を実施する。

※ 生徒向け学校教育自己診断における進路実現のための努力に関する肯定率(平成23年度69%)を平成26年度に75%とする。

3. 創造性・国際性・人権意識の向上、コミュニケーション能力と社会に積極的に関わる力を涵養する。

- (1) 生徒が多様な分野における研究等について学べるようにする。

ア 総合的な学習の時間担当連絡会が軸となり、学年・進路指導部等と連携し、「総合的な学習の時間」において志学・キャリア教育・人権教育を計画的・組織的に行う。

イ 外部講師を「総合的な学習の時間」や授業において積極的に招くとともに、生徒による発表・相互評価の機会を増やす。

※ 生徒向け学校教育自己診断の学校の教育相談体制に関する項目における肯定率(平成23年度58%)を平成26年度には70%にする。

- (2) 国際交流を推進し、国際教育を充実させる。

ア 語学研修の機会を拡大するとともに、部活動等自主活動との両立を図る。また、「総合的な学習の時間」を活用し、スピーチコンテストの実施、国際交流機会の拡充により、生徒の英語力を向上させ、多様性尊重の精神を涵養する。

※ 生徒向け学校教育自己診断における「総合的な学習の時間」に関する満足度(平成23年度78%)を平成26年度には85%にする。

4. 安全で安心な学校をつくる

- (1) 保護者との信頼関係を強くするとともに専門家と連携し、校内の教育相談体制を充実させる。

- (2) 積極的かつ効果的な広報活動を行う。

※ 保護者向け学校教育自己診断における広報活動の肯定的評価(平成23年度80%)を平成26年度に85%にする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成26年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>今年度は12月に生徒、保護者、教職員を対象とした学校教育自己診断を実施。</p> <p>【生徒対象】 全質問項目(33項目)中、16項目の肯定的な評価が昨年度を上回った。特に昨年に比べて増加したのは、「生徒は活発に部活動に取り組んでいる」、「先生は教え方に様々な工夫をしている」、「学校では命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」に対するものである。逆に肯定的な評価が低いのが、「北千里高校には、ユニークな特色や取組みがある(56.3%)」、「先生はいろいろな問題を見逃さずに対応してくれる(56.2%)」、「私は家庭での毎日の学習時間をしっかり確保するように努力している(56.1%)」である。</p> <p>【保護者対象】 昨年度の比較では36の質問項目の内、肯定的な評価が増加したものが20、減少したものが15、変わらないものが1。「わからない」という回答は校内の教員体制や生徒対応に関するものが多い。教育内容については引き続き情報提供を進めていきたい。</p> <p>【教職員対象】 前回(平成25)との比較では、増減の差が大きなものが多い。最も肯定的な評価が増加したのが「指導内容について、教科内で話し合う機会がよくある(65%→85%)」で、逆に減少したのは「教職員はPTA活動によく参加している(56%→31%)」という項目である。</p>	<p>第1回(7/3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選抜業務の取組みについて、安心できるシステムづくりに引き続き努力してほしい。 ・遅刻は将来、社会人として評価を下げる。しっかり取組みを進めてほしい。 ・授業力を確立していくことが一層求められている。 ・授業アンケートは使い方により学校がめざしているものと違う方向に向かうので、注意が必要。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で北千里を応援するものとして、ぜひ学校の取組みのお手伝いをしたい。 ・学校教育自己診断は、学校に対する「期待度」など勘案して解釈すること。 <p>第2回(12/12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒との懇談会で、生徒の優秀な側面を見せていただいた。 ・優秀な生徒がリーダーとなって、周囲の子を巻き込んで高めあって欲しい。 ・生徒との懇談会は楽しかった。真面目だが折れない強さを感じる。 ・授業アンケートの生徒の生の声を聞いて先生方が向上していくのを感じた。 ・授業の改善について悩むばかりでなく、取組みが必要。 ・授業改善に向け、IT機器の導入に早く取り組むことが必要ではないか。 <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生方のチーム力が大切である。 ・チームで、生徒とともに課題に取り組んでほしい。 <p>第3回(3/25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語運用能力向上のため、英語で1日を過ごす行事など企画してはどうか? ・ALについての研究を進めてみては? ・学校評価については、長期的スパンで眺めることも大切。 ・周辺住環境の変化に対応した地域連携・情報発信をお願いしたい。 ・次年度の進化に期待する。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>ア 授業アンケートを活用した授業力の向上と生徒の学力向上に係る調査・研究</p> <p>イ 公開授業や研究授業等の充実</p> <p>ウ 生徒個々の学習に対するインセンティブを高め、大きな夢と高い理想を持った人材の育成</p>	<p>ア・授業アンケートを年2回(7月、12月)実施し、よりわかりやすい授業に向けて、情報を共有する。</p> <p>イ・テーマを設けた研究授業・公開授業週間を11月に実施し、相互授業観察による成果と課題について全教員で取り組む。</p> <p>ウ・学年、教科主任会議、進路指導部と連携し、放課後・土曜日における自習室の整備、土曜自習室の運営、自習教材の編成、教育産業の活用を充実させるとともに、長期休業中の補充授業、補習を実施し学習機会の充実に努める。</p> <p>・ICTを活用した授業、外部講師を招いての講義についての研究と実践を推進する。</p> <p>・総合的な学習の時間「総合」の充実と発展を図るため、担当首席を中心に1年から3年まで計画的・系統的に立案、調整する。</p> <p>・専門機関との連携を強化し、生徒が研究・発表・評価する機会を増やす。</p>	<p>ア・授業アンケートの質問項目1～9について、7月、12月でそれぞれ学校平均が前年度を上回る。(H25年度7月2.97、12月3.04)</p> <p>イ・授業アンケート結果における生徒の授業への意欲・関心に係る値80%に向上させる。(平成25年度12月75.5%)</p> <p>ウ・土曜講習を引き続き年間25回実施する。</p> <p>・専門家・外部講師招聘を各学年3回以上実施する。</p> <p>・国公立大学と有名私大の現役進学率30%以上をめざす。</p>	<p>ア・授業アンケートの質問項目1～9について、7月、12月でそれぞれ学校平均が前年度を上回った。(H26年度7月3.06、12月3.12)(◎)</p> <p>イ・授業アンケート結果における生徒の授業への意欲・関心に係る値の平均は7月80.8%、12月83.7%と向上した。(◎)</p> <p>ウ・土曜講習を引き続き年間25回実施した。(○)</p> <p>・専門家・外部講師招聘回数は1年6回、2年6回、3年2回。(○)</p> <p>・国公立大学と有名私大の現役進学率国公立26名合格(昨年16名)(◎)</p> <p>関関同立259名合格(107名進学)</p> <p>現役進学率33.3%(◎)</p>
2 豊かな心を育み生徒の個性を伸ばす	<p>ア 学業、部活、学校行事を3つの柱とし、バランスのとれた教育活動の推進</p> <p>イ 生徒の自主性を育て、規範意識を持ち自律ある行動ができる人材の育成</p> <p>ウ 部活動等自主活動の充実</p>	<p>ア・体育祭、文化祭、修学旅行等の学校行事等で、学年、生徒会部、外部講師等と連携し、生徒のリーダーシップ意識の育成に取り組むとともに、部活動との連携により、生徒の自発性と、1～3学年の縦と横の励ましあい の関係を向上させる。また、各学年、各分掌で重点目標を定める。</p> <p>イ・部活動、集会等の学校行事を通して、命を大切にすることや社会のルールについて強い関心を持った生徒を育成するとともにその顕彰に努める。</p> <p>ウ・生徒会部と連携し、部活動の課題を把握するとともに、大会、コンテストや地域における活動をサポートする。また、外部講師、専門家の支援を活用し、自主性をもった活動を支援することによって、部活動等自主活動の成績を向上させる。</p>	<p>ア・生徒の満足度をそれぞれ90%以上とする。(H25文化祭・体育祭が89%、修学旅行は92%)</p> <p>・生徒の部活動入部率90%以上を維持する。</p> <p>イ 生徒の活動を学校HPやメルマガ等を通して紹介する。「北千里フォトニュース」については年間50回発信する。</p> <p>・地元のFMラジオ局から毎月1回年間10人以上の生徒が出演する。</p> <p>ウ・各部生徒代表とのヒアリングを7月までに実施。文化部と市民団体との共同研究事業を新たに実施し発表の場を設定。</p>	<p>ア・学校行事における生徒の満足度は文化祭・体育祭が90.1%、修学旅行93.9%。(○)</p> <p>・生徒の部活動入部率91%を維持した。(○)</p> <p>イ 校長便りについては5月より1月までで48回更新している。「北千里フォトニュース」は前任校長が発信、本年度は発信せず。(○)</p> <p>・地元のFMラジオ局の出演は9月24日より再開。5回の放送で7名の生徒が出演。(○)</p> <p>ウ・第2回学校協議会において部活動代表生徒8名、生徒会執行部生徒6名との懇談会を実施。委員に好評であった。(◎)</p> <p>文化部は様々な地域行事に協力し、発表の機会を増やした。(○)</p>
3 コミュニケーション能力と社会に積極的に関わる力の涵養	<p>ア グローバル社会でも活躍できる人材を育てる</p> <p>イ 総合的な学習を通して、幅広い教養と柔軟な思考を育む</p> <p>ウ 地域と連携した学校の特色づくりの推進</p>	<p>ア・海外語学研修、1・2学年全員参加による英語スピーチコンテストの実施、海外留学生との交流、海外生活経験者の講演等を通して、国際理解教育を推進し、自ら情報発信ができる生徒の育成をめざす。</p> <p>イ・「人権意識の向上」、「国際理解の推進」、「言語活動の充実」、「キャリア形成の支援」を常に意識した総合的な学習を実施する。</p> <p>ウ・昨年度新たに取り組んだ地域連携活動をより推進し、地域の中で積極的に係る姿勢を育て社会性を養う。</p>	<p>ア・英語研修の成果を冊子にまとめるとともに、文化祭で発表を行う。アンケートを実施し満足度90%以上をめやすとする。</p> <p>イ・学校教育自己診断の「総合」に関する肯定的評価を平均75%以上とする。</p> <p>ウ・地域と連携したプロジェクトを5回以上実施し、生徒自ら地域に情報発信できる機会を増やす。</p>	<p>ア・英語研修の成果を冊子にまとめた。文化祭で発表を行った。アンケートの満足度は90%以上であった。(○)</p> <p>イ・学校教育自己診断の「総合」に関する肯定的評価を平均75.3%であった。(○)</p> <p>ウ・地域と連携したプロジェクトを7回以上実施した。</p> <p>文化祭への関係機関の参加、青山台夏祭り、FM千里、千里竹灯り、国循フェスタ、Mcオープンハウス、北千里駅前秋祭り地域への情報発信に努めた。(◎)</p>
4 安全で安心な学校づくり	<p>ア 学校からの広く地域への情報発信を充実させることにより、地域、保護者との信頼関係を強化</p> <p>イ 教育相談体制、支援体制の充実、問題の未然防止</p> <p>ウ 命の大切さを認識させるとともに、学校施設の安全・維持に努める</p>	<p>ア・学校案内を刷新するとともに、学校ホームページやメールマガジンを活用し、保護者に対して学校での教育活動の情報提供を行う。</p> <p>・PTA協議会の幹事校として第2ブロック全体の課題について保護者との連携強化に努める。</p> <p>イ・「学校いじめ防止基本方針」の年間計画をもとにスクールカウンセラーとも連携を密にし、情報の収集、交換に努める。</p> <p>・「高校生活支援カード」を活用し、生徒の状況や保護者のニーズを把握することで、適切な指導と支援を行う。</p> <p>ウ・交通安全、特に自転車通学のマナー向上に向けて地域・保護者とも連携しながら安全意識を高めるための指導を強化する。</p> <p>・校内設備、施設の点検の取組みを進める。</p> <p>・情報セキュリティポリシーに沿った情報の管理に努める。</p>	<p>ア・北千里メールマガジンの利用率95%を維持するとともに、発行回数を増やす。(年間80回)</p> <p>・教育自己診断の学校ホームページについての肯定的な評価を70%に引き上げる。(H25は63%)</p> <p>イ・教育自己診断の「先生はいろいろな問題を見逃さず対応してくれる」の肯定的な評価を60%(H25は56%)とする。</p> <p>ウ・保護者と協議の上、新たな保険制度を導入する。</p> <p>・校内設備、施設の不備による事故、個人情報の流出事故を“ゼロ”にする。</p>	<p>ア・北千里メールマガジンの利用率96.2%(○)</p> <p>発行回数は年間67回(△)</p> <p>・教育自己診断の学校ホームページについての肯定的な評価は79%(◎)</p> <p>イ・教育自己診断の肯定的な評価は56.2%(△)</p> <p>ウ・新たな保険制度は導入済み(○)</p> <p>・重大事案の発生はなかった(○)</p>